

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境整備・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		パーソナルスペースを確保するためには十分だと感じたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、ソーシャルディスタンスを保とうとすると狭く感じた。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		加算条件等の人員配置は満たしているが、体調不良等の休みに対応が難しい現状がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		トイレ前にのみ段差があるが、カーテンを引くことで、いったん止まれるよう、工夫をしている。
業務内容	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の振り返りや支援記録の作成時に職員間で行っている。指導員間で、提供した支援について、お互いに意見交換ができています。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			昨年度、改善目標としたEメールの活用を積極的にを行い、情報共有のみならず、相談受付等の対応を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ガイドラインに基づいた自己評価を行い、事業所ホームページにて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員会を設置していない。今後設置するかは未定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修自体が少ない上、中止が余儀なくされ、研修の機会が減ってしまった。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の意向や本人の意見、相談支援事業所の意見を踏まえ、子どもにとっての幸福を考え設定している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		施設独自のアセスメントツールがあるが、使用できていない利用者やできていない利用者がある。積極的に保護者へ声掛けをし、ツールの活用を進めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で相談し、準備から実施に至るまで確認作業をしながら実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化したほうがよい場合、そうでない場合を見極め、実施できている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各週に設定したテーマ毎の学習を実施しており、その上でテーマに沿ったイベントの考案や、支援の方法を工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動をメインとしているが、保護者のニーズや、能力によっては、個別で取り組むプログラムも組み込んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			実施できている。トレーニングの構成から、対応指導員まで細かく決め、より効果的な支援ができるよう考案している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			その日の生徒の様子で気になったことや気付いたことを職員間で共有ができている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			保護者への配布用と、指導員間の共有用に2種類記録を残しており、指導員間だけでなく、保護者とも共有ができるようになっている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、来室によるモニタリングを控えざるを得なくなりました。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、地域との繋がりを持たせる支援の実施ができなかった。しかし、動画や映像通話ソフトを活用したイベント等、できることに努めた。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			できている。担当者会議に参加後、記録を作成し、その他職員にも周知、情報の共有を行っている。
	21 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			来年度より、電子設備の活用が認められるようになるため、インターネットを使ったテレビ電話等の機能を用いた会議も積極的に取り入れていきたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な生徒の受け入れを行っていない為、実施に至らない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	現在、未就学からの児童の受け入れがない。今後受け入れる場合には保護者の同意を得たうえで、保育所、児童発達支援事業所等の連携を図る。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当する生徒の利用がまだない為、実施に至っていない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	新型コロナウイルス感染症の流行により、研修の中止が相次いだ。オンラインによる研修もあったが、教室の人口密度を減らすため、人員配置を最低限にしていたため、参加の余地が確保できなかった。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園や外出イベントにおいて、交流する機会はあるが、当施設から障害のない子どもと活動する機会の提供は行っていない。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	新型コロナウイルス感染症の流行により、中止となってしまったが、普段は各地域の放課後等デイサービス間の情報交換会や連絡会に積極的に参加するようにしている。
保 障	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用日のお迎え時に、サービスの提供記録を用意し、その日の支援や子どもの様子を保護者へ直接伝えている。また、メールの活用にも力を入れ始め、そこで相談に乗るケースも増えてきた。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは実施していない。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等により、研修が先送りになってしまっている検討していく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に内容の読み上げを行い、説明している。どの職員も説明できるよう、今後は勉強会を実施する予定。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談に対する支援を実施しており、記録に残して職員間の周知、情報の共有も行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の顔合わせの機会は提供していない。保護者によっては係わりを取りたい方と避けたい方がいるため、慎重に検討をしていく。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	苦情対応の担当を決めており、入り口付近に掲示している。また、苦情があった際には迅速な対応を行うことができた。しかし、保護者の方への周知に課題を感じるため、広報やHPでの開示など、検討を行っていく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		イベントの情報、活動テーマの事前公開を毎月発行し、配布している。活動した内容がまだ見えづらいと感じる。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			指導員室には生徒が入らないよう注意している。また、個人の記録や書類に関しても、必ず鍵付きの保管場所を使用している。反対に、どこまでなら伝えられるかも考える必要があると感じる。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			なるべくわかりやすく、間違って伝わらないよう配慮している。また、伝わるように視覚的な情報の伝達方法を実践している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		通っていることを知られたくない保護者の方やもいるため、慎重に行う必要があると感じる。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急連絡先の作成等を実施したが、保護者の方用のマニュアルがなく、ご家庭で確認をしていただくことができない状況にある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回以上、災害を想定した避難訓練を、生徒も含めて実施しているが、イベントとして実施しており、結果の公表等を行っていないため、利用がない生徒やその保護者には実施しているかわからない状況。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月虐待のセルフチェックを実施している。また、地域で実施される研修会には積極的に参加を行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			職員間で常に生徒の様子を確認するとともに、身体拘束が必要な状況がある、と事業所で判断した場合、個別支援計画に必要な状況・対応方法を明記して保護者の同意を事前に得るようにしている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者の自己申告書にて確認を行い、細心の注意を払っているが、医師の指示書の確認まで行っていない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書、事故報告書の様式を作成し、誰でも作成できる環境を整えている。また、報告が上がった場合も全職員での情報の共有を実施している。